

バランスシート

(平成17年度末現在)

借方 (資金の使い道の内容)

貸方 (資金の調達の内容)

【資産の部】 将来に引き継ぐ財産	
1. 有形固定資産	1,092億 8千万円 (構成比)
(1) 総務費	58億 円 (5%)
(2) 民生費	92億 5千万円 (8%)
(3) 衛生費	35億 7千万円 (3%)
(4) 労働費	3億 9千万円 (1%)
(5) 農林水産業費	92億 9千万円 (9%)
(6) 商工費	45億 3千万円 (4%)
(7) 土木費	429億 7千万円 (39%)
(8) 消防費	7億 5千万円 (1%)
(9) 教育費	322億 3千万円 (29%)
(10) その他	5億 円 (1%)
(有形固定資産のうち土地)	208億円)
2. 投資等	74億 2千万円
(1) 投資及び出資金	22億 2千万円
(2) 貸付金	4億 8千万円
(3) 基金	42億 4千万円
① 特定目的基金	32億 1千万円
② 土地開発基金	10億 2千万円
③ 定額運用基金	1千万円
(4) 退職手当組合積立金	4億 8千万円
3. 流動資産	19億 5千万円
(1) 現金・預金	13億 6千万円
① 財政調整基金	5億 5千万円
② 減債基金	2億 4千万円
③ 歳計現金	5億 7千万円
(2) 未収金	5億 9千万円
① 市税	5億 3千万円
② その他	6千万円

- 市庁舎、市民文化会館など
- 保育所、北部老人福祉総合エリアなど
- 墓園整備など
- 勤労者福祉施設など
- 農林道など
- 湯夢湯夢の里など
- 道路、公園、市営住宅など
- 防火水槽など
- 小中学校、給食センターなど
- 水道、病院事業会計への出資金など
- 地域総合整備資金など
- 教育施設、庁舎建設基金など
- 特別導入貸付牛購入基金
- 退職手当組合積立金のうち大館市の持分相当額
- 市債の償還のための積立金
- 前年度からの繰り越し現金

【負債の部】 これから負担する分	
1. 固定負債	453億 円
(1) 市債	374億 1千万円
(2) 債務負担行為	0円
① 物件の購入等	0円
② 債務保証又は損失補償	0円
(3) 退職給与引当金	78億 9千万円
2. 流動負債	36億 7千万円
(1) 翌年度償還予定額	36億 7千万円
(2) 翌年度繰上充用金	0円
負債合計	489億 7千万円

平成17年度末の市債残高(翌年度償還分を除く)

平成17年度末に全職員が退職した場合の手当の試算額

翌年度の償還元金

【正味資産の部】 これまでの世代で負担した分	
1. 国庫支出金	168億 9千万円
2. 県支出金	72億 7千万円
3. 一般財源等	455億 2千万円
正味資産合計	696億 8千万円

有形固定資産を取得するために使った国や県からのお金

資産を取得するために使った市税など

資産合計 1,186億 5千万円 **負債・正味合計** 1,186億 5千万円

バランスシートは、市の財産、市債などの債務の状況や償還能力を明らかにします。バランスシートを見ることにより、市にどのような財産がどのくらいあるのか、どのような住民負担がどのくらいあるのかを対比し、来年度以降に引き継ぐ財産と住民負担が分かります。

有形固定資産は、16年度末の有形固定資産残高に17年度中に取得した資産を加える一方、17年度中の減価償却分を減じて算出しています。その結果、道路、市営住宅、公園などの土木費が最も多く、次いで学校、社会教育施設などの教育費となっています。

負債の部では、翌年度償還予定額を含めた市債の残高は、16年度末より4億7千万円減って410億8千万円となっています。これは、17年度の借入額が償還額より少なかったためです。

有形固定資産、投資等の資産及び現金・預金などの流動性資産の資産合計額1,186億5千万円から負債合計額489億7千万円を引いた正味資産合計は696億8千万円です。前年度比△16億円となり、これは流動資産が前年度比△10億7千万円となったのが主な要因です。